

# ドライブへ行こう！

2班 井出 金子 栗木 高橋



# 目次

---

1. 新聞記事
2. 現状分析
3. 問題提起
4. 政策提言
5. 検証

# 新聞記事

---

# 新聞記事

---

## 広がる「フードドライブ」 家庭の不要食品寄贈/貧困・ロス対策

家庭で要らなくなった食品を持ちより、一人親家庭などに贈る「フードドライブ」という取り組みが注目されている。気軽に参加でき、まだ食べられるのに捨てられる「食品ロス」の削減にもつながる。今月4日、東京都江戸川区で開かれた「環境フェア」で、フードドライブのブースが設けられた。「ドライブ」には「寄付募集などの運動」の意味がある。区からの呼びかけに応じた主婦ら80人が約240キロ分の食品を持ち寄った。缶詰やレトルト品、即席麺など、日持ちするが賞味期限の近づいた食品が中心。食品は、NPOを通じて、一人親家庭などに渡される。(中略)不要な食品を活用する取り組みとしては、「フードバンク」がある。NPOなどが、主に食品メーカーやスーパーなどの企業から不要な商品を集め、一人親家庭や福祉施設などに寄贈する仕組みだ。一方、フードドライブは個人が自宅の食品の持ち寄るのが特徴。いわば「草の根型」のフードバンクといえる。食品は、フードバンクなどお通じて活用される。10年ほど前に始まりここ1、2年で広がりを見せている。

2016年6月16日 読売新聞

# 記事要約

---

- 家庭で要らなくなった食品を持ち寄って必要としている人に寄贈するフードドライブという運動がここ最近注目されている。
- フードドライブとは従来企業が中心となって寄贈するフードバンクに個人の家庭からの寄贈を加えるためのシステム
- 家庭での食品ロスを抑制すると期待されているが、まだ食品の分別や受け入れ態勢等が確立されておらず、課題はまだまだ多い

# 現状分析

---

# 日本における食品ロス

---

- 食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のこと
- 日本では、年間2,801万トン\*の食品廃棄物等が出されている
- このうち、食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は642万トン
- また、家庭における一人当たりの食品ロスは、1年間で24.6kgと試算されている

\*平成24年度推計

# フードバンクの食品取扱量

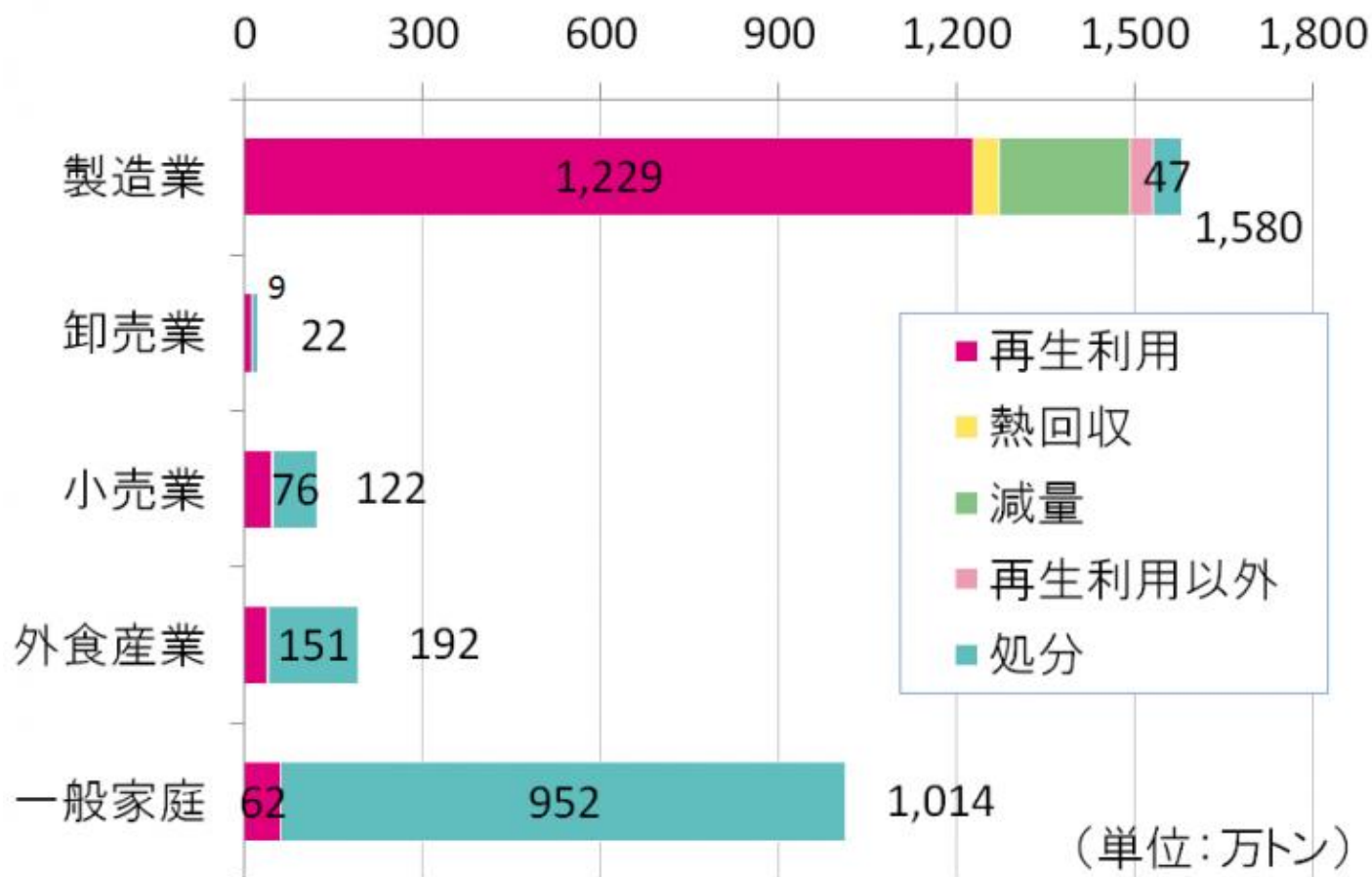
年	取扱量(t)	金銭換算(万円)	前年度比
2005年	175	10560	1.53 倍
2006年	255	15300	1.45 倍
2007年	370	22200	1.45 倍
2008年	850	51000	2.30 倍

表 セカンドハーベスト・ジャパンの活動実績

→年々、普及率は上昇しているといえる



# 食品廃棄物の再生利用状況（平成24年度）

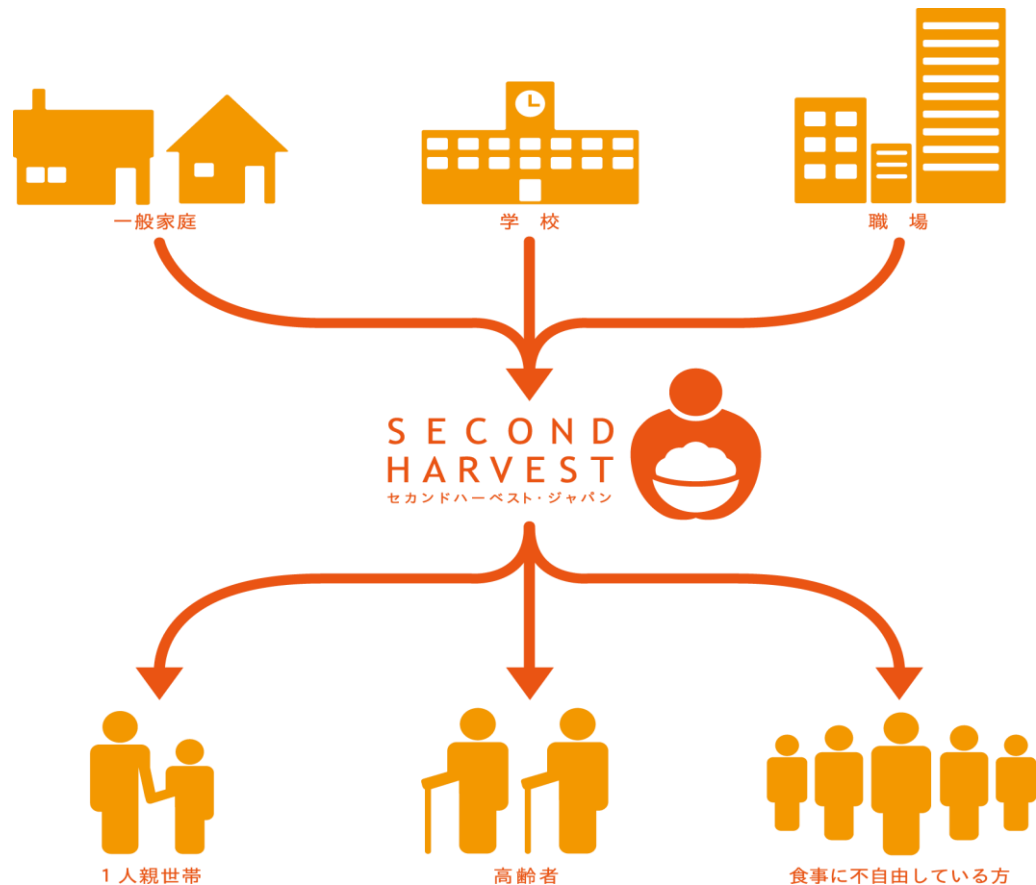


一般家庭から発生する食品廃棄物はわずか6%ほどしかリサイクルされない

# 問題提起

---

# フードドライブとは



- 家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄りそれらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動
- 草の根型のフードバンクである

# 問題提起

---

フードドライブは食品ロスを解消できる良い制度ではあるが、現状分析を踏まえると、以下の課題がある

家庭が寄贈するインセンティブ

食品の分別、受け入れの問題

以上2つの問題を解決できるより良い仕組みを考える

# 政策提言

---

# 政策提言

---

問題提起を受け、私たちが考えたのは

## 食品寄贈ポイントカードシステム

※ポイントの景品はこのアイデアに賛同するフードバンク参加企業によって広告と共に提供される



# 政策の内容

---

## 一般家庭の流れ

食品を寄贈すると食品に応じた、  
ポイントをゲット  
(食品の分類や賞味期限でまとめ  
られてるとボーナス！)



ポイントを景品と交換できる

## フードバンクのメリット

家庭はまとめて出そうとするので  
回収が少し楽になる！

## 企業のメリット

企業は景品等を通じて広告  
ができる！



# 政策のメリット

---

- ①一般家庭にフードドライブに積極的に参加する目的ができ、活動が広まることが期待できる
  
- ②ポイント制度を上手くインセンティブにすることにより、集まった食品の分別を楽にできる。
  
- ③参加企業が景品の提供等によってフードドライブへの協賛を更に示すことができる。



# 政策のデメリット・疑問点

---

- ① 慈善でやっている事業に景品を出すことへの反発と失敗の可能性
  
- ② 分別された寄贈を推奨する仕組みではあるものの、強制ではないこと
  
- ③ 協賛企業を集める大変さ

# 検証

---

# 検証が必要な事項

---

- フードドライブに対する企業のやる気
- ポイント制度と寄附が両立できるのかどうか

つまり、政策のデメリットの①と③について検証を行う



# 海外での企業とフードドライブ

## Cambell's pours extra juice into Foodbank warehouses

Home / Food Case Studies / Cambell's pours extra juice into Foodbank warehouses

March 14, 2013



Campbell's donated 225,000 serves of vegetables to Foodbank for Australians in need to mark the official opening of its new, \$14.6 million dollar PET line at its Shepparton facility in Victoria.

Chris Foley, General Manager Campbell's Australia New Zealand, said the Company is delighted that the donation will provide a nutritious boost to the diets of many of the 2.2 million Australians living in poverty each day.

"But it's still a fact that almost *all* Australians, not just those in need, struggle to consume their recommended daily intake of five serves of vegetables a day. And if you're a male aged between 19 and 50 years, that's just gone up to six serves a day," he said, following the release last week of Australia's updated dietary guidelines.

"That's where V8 juices can help. Every 250ml glass contains up to three serves of veg and we've cleverly blended most varieties with fruit, which means you get the benefit of veg with the taste of fruit."

### Recent Posts

[Foodbank Australia appoints new CEO](#)

[Foodbank Hunger Report reveals hunger crisis impacting everyday Aussies](#)

[Campbell's partners with Foodbank to fight hunger in Australia](#)

[This chocolate brownie will help combat Australia's hunger crisis](#)

[Aussie Farmers Foundation and Foodbank serve up Meals for Mates](#)

[ADM cares about Key Staples](#)

[Two of Australia's largest family owned meat processors, join Foodbank in fighting hunger in Australia](#)

[Changes at Foodbank Australia](#)

[Foodbank Australia appoints new Chair](#)

[Rice growers, SunRice and Deni Freighters donate 1.37 million serves of rice to Foodbank](#)

オーストラリアでは、食品会社のキャンベルが新たな工場の稼働を記念して合計225000人前の野菜ジュースを寄付したというニュースがある。

キャンベルは昔からフードドライブへの積極的な参加で有名。

○

# 寄附＋ポイント制度の例：ふるさと納税

ふるさと納税→任意の自治体へお金を寄付することによって、住民税の一部が控除されたり、自治体からお礼の品をもらえる制度。



↑例えば、ウナギで有名な四万十町にふるさと納税をするとウナギのかば焼きがプレゼントされる

2008年に開始してから  
ふるさと納税によって  
今まで8664610件の寄附が  
あり、**寄附に景品によるインセンティブを与えるシステムは成功している**

[http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/item\\_detail/39412/47144](http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/item_detail/39412/47144) (6月27日閲覧)

# 検証のまとめ

---

- ①海外でのデータだが、企業のイメージ上昇のためにフードバンクや食品の寄附に積極的な企業は存在している。このようなやる気のある企業に依頼すれば景品の提供に協力してもらえ、企業はもっと宣伝ができるしWin-Winの関係になれる。
- ②寄附活動に景品を与えるプロジェクトはふるさと納税で既に行われており、大きな成果をあげている。それと似たような今回の政策も成功すると期待できる。

# 参考文献

---

- ・消費者庁 -食べもののムダを無くそうプロジェクト  
[http://www.caa.go.jp/adjustments/index\\_9.html](http://www.caa.go.jp/adjustments/index_9.html) (6/27閲覧)
- ・日本冷凍空調学会 -多目的なNPO活動としてのフードバンク活動  
<http://www.jsrae.or.jp/cck/5-3.pdf> (6/27閲覧)
- ・埼玉県 -食品ロスの削減 <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0507/foodloss-sakugen.html>  
(6/27閲覧)
- ・セカンドハーヴェストプロジェクト -フードドライブ <https://2hj.org/support/time/fooddrive>  
(6/27閲覧)
- ・Foodbank -Canbell's pours extra juice into Foodbank warehouses  
<http://www.foodbank.org.au/2013/03/14/cambells-pours-added-juice-into-foodbank-warehouses/> (6月27日閲覧)
- ・ふるさと納税サイト -ふるさとチョイス [http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/item\\_detail/39412/47144](http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/item_detail/39412/47144) (6月27日閲覧)